

名古屋白龍マンションでっちあげ事件

「無罪勝訴」奥田さん正義の訴え

損害賠償請求

(国家賠償請求と併合審理)

『第12回口頭弁論』

'21年4月20日(火)13:30

名古屋地裁1号法廷

終了後報告会を予定しています



私は相手工事監督の虚偽に
より不当逮捕されたことに
でっちあげ事件や弾圧被害を
社会から無くす為の訴えです。

① (事件前) 強硬工事による騒音・粉じん被害
事件前、奥田さんや周辺住民は工事騒音や粉じんが
酷く工事監督に申し入れた所、暴行をでっちあげら
れ不当逮捕されました。事件を語る上での重要な
背景です。⇒工事騒音裁判『工事業者は
騒音、粉じん被害防止に誠実に取り組む』

白龍住民
勝利的
和解!

② でっちあげ事件1 工事監督の診断書
工事監督は、暴行を受けトラックにぶつけられたと
して左背部打撲の診断書を提出。しかし証拠映像か
ら、左背部打撲の形跡はありませんでした。その後
も工事監督は証言で変遷を繰り返しました。
⇒刑事裁判証拠『診断書不採用』

Hensen
変遷?

③ でっちあげ事件2 工事ガードマンの目撃証言
工事ガードマンは、工事監督がトラックにぶつけら
れたのを歩道上に居て目撃したと証言。しかし証拠
映像から、工事ガードマンはその時歩道
上には居ませんでした。⇒刑事裁判判決
『工事ガードマン証言は整合せず信用できない』

Kyogi
虚偽?

④ でっちあげ事件3 工事監督の被害者証言
裁判所選任の鑑定人から「奥田さんは何もしていない」
むしろ「工事監督自らが不自然な動きで
トラックの方に後退して行った」と指摘。
奥田さんの無実が証明された瞬間です。
⇒刑事裁判判決『工事監督証言は曖昧で疑いが残る』

奥田さん
無罪
勝訴!

⑤ (事件後) 監視カメラによる住民弾圧・共謀罪
でっちあげ事件にも利用された監視カメラ。事件後、
工事業者は10台ものカメラを設置して奥田さんや住
民宅周辺を監視。住民弾圧、共謀罪先取りと疑われ
ています。⇒監視カメラ裁判『工事業者
は嫌らせ的な意図で設置したと疑われる』

白龍住民
画期的
勝訴!

⑥ (オマケ)
工事監督は、事件当日は暴行を受け痛いため早く帰
宅し自宅で食事したと証言。しかし実際は、痛がる
そぶりなど見せず夜は仲間と飲みに出掛けたことが
判明しています。また工事監督は警察と密に
連絡をとり出動を要請していました。



弁護団・支援団体

國田武二郎(あすなろ法律)・中谷雄二(名古屋共同法律)・佐橋祐策(あすなろ法律)・塚田聡子(名古屋共同法律)

奥田さんを守る会・名古屋白龍住環境を守る会・日本国民救援会愛知県本部